

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号	仕 様 書 番 号		
令和6年度任期制隊員SP I 集合訓練役務	防衛大臣承認		
	作 成	令和 6 年 3 月 2 9 日	
	変 更	令和 年 月 日	
	作成部隊等名	西部方面総監部人事部援護業務課	

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、令和6年度任期制隊員SP I 集合訓練役務について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、GLT-CG-Z000001及びGLT-CG-Z000009による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する文書は、その仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

1.3.1 仕様書

GLT-CG-Z000001 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

2 役務に関する要求

2.1 実施時期

令和6年5月1日（水）～令和7年3月31日（月）の間の2回

2.2 実施場所

熊本県熊本市東区東町1丁目1番1号

陸上自衛隊健軍駐屯地 援護教育センター内

2.3 受講予定者

任期制の退職予定隊員で、年齢は20～30歳の者が主であり、最大35名

2.4 教育内容等

2.4.1 教育目的

任期制の退職予定隊員の希望者に対し、SP I 試験に係る対策教育を実施し、その能力を向上させるとともに、優良企業等への再就職による処遇向上に資する。

2.4.2 課目及び教育時間

a) 本教育を受講することにより、教育目的を達成できる内容は表1のとおりとする。

表 1－教育目的達成内容

課 目	目 標	時間（基準）
S P I 試験概要	S P I 試験の概要について理解させる。	1 h
能力検査問題の理解	能力検査問題（言語分野・非言語分野）の問題形式及び傾向について理解させる。	1 0 h
性格適性問題の理解	性格適性問題の問題形式及び傾向について理解させる。	1 h
総合的な問題演習	テストセンター試験対策を含めた実践形式の問題演習を実施して、試験対応能力を向上させる。	1 8 h

b) 課目の概要

別紙第 1 「課目の概要」による。

c) 教育時間

各回の教育（契約の相手方担任分）は、5 日間（3 0 時間）とする。

細部は別紙第 2 「教育期間及び教育時程」のとおりとする。

2.4.3 教育要領及び留意事項

- a) 契約締結後、契約の相手方は、課目構成、順次、配分時間、講師名簿、教育資料等（テキスト（市販品でも可）等）を含めた教育実施計画（様式随意）を作成し、西部方面総監部人事部援護業務課援護教育センター（以下、「援護教育センター」という。）と教育内容の確認、教授予行等、所要の調整を行うものとする。
- b) 教育要領については、参集受講者に対する対面講義 1 回（最大 1 0 名）及び九州・沖縄の自衛隊各駐屯地等に所在する受講者に対するオンライン講義 1 回（最大 2 5 名、オンライン端末 1 0 台程度）で実施するものとする。
- c) 本教育は、契約の相手方が派遣する講師が、同じく契約の相手方が準備する教育資料等（テキスト（市販品でも可）、プレゼンテーション用スライド等）を用いて実施するものとし、板書を主とした教育は不可とする。ただし、補助教材であるホワイトボードを使用した教育内容の補足的説明等は可能である。
- d) 教育の進行は、契約の相手方が準備する教育実施計画に基づくが、各課目は、教育効果を得るための最適な順序で実施するものとし、適宜休憩（5 0 分講義後、1 0 分休憩）をとるものとする。
- e) **オンラインに関する仕様**
 - 1) 自衛隊内のネットワークにより、C i s c o J a b b e r を使用する。
 - 2) 受講者のオンライン端末は、自衛隊専用の官用パソコンを使用する。
 - 3) オンライン端末ごとの受講者の数については、受講場所ごとに 1 名から複数名と様々であり、複数名が受講する端末では、スクリーン、プロジェクター等を使用する必要があることに留意する。
 - 4) 受講者が視聴する映像は、講師、プレゼンテーション用スライド等を表示する液晶モニター及びホワイトボードである。

- 5) 講師は、接続中のオンライン端末を通して、受講者の映像を確認することができる。
- 6) 講師と受講者との意思疎通は、オンライン端末による音声により可能である。

f) 教育資料等に関する仕様

- 1) テキスト（市販品を除く。）の内容は、全教育期間中同一であることとし、変更等は原則不可とする。ただし、止むを得ない事情により変更等の必要性が生じた場合は、援護教育センターと所要の調整を行い、承認を得るものとする。この際、当該変更等に係る経費が発生した場合は、契約の相手方が負担するものとする。
- 2) 契約の相手方は、テキスト（市販品を含む。）が複数種類となる場合、これらを受講者1名分ずつに纏めて、対面講義の場合は援護教育センターに、オンライン講義の場合は受講者が所在する九州・沖縄の自衛隊各駐屯地等に、教育開始2週間前までにそれぞれ郵送（必着）するものとする。
- 3) プレゼンテーション用スライドは、表2に示す仕様に基づき、受講者が容易に視認できるように作成するものとする。

表2ープレゼンテーション用スライド作成における仕様

統制項目	仕様
使用ソフトウェア	マイクロソフト パワーポイント（基準）等
スライドの構成（レイアウト等）	・ A4ヨコ ・ 容易に視認できる文字等の配置
文字の大きさ	20ポイント以上
図、表、グラフ等の大きさ	容易に視認できる適宜の大きさ
文字及び線の種類	容易に視認できる文字及び線の種類

- 4) 受講者に対する事前課題、受講者が事前に準備することが必要なものがある場合については、教育開始4週間前までに援護教育センターに連絡するものとする。

2.4.4 講師の定義、要件等

a) 講師の定義

1) 主任講師

教育期間中を通して、教育進行、担当課目の実施、講師運用等の全般を統制するものとする。

2) 専門講師

本教育中の課目を専門的に講義できる適任者（有資格者等）であり、契約の相手方の計画により選任するものとする。

b) 講師の要件

SPI試験対策の講師としての実務経験3年以上の実績があり、多人数に対する教育経験を有することとする。この際、オンライン講義の経験を有する者が望ましい。なお、主任講師は同一講師を5日間通して起用することを原則とし、専門講師を兼ねることができる。

2.4.5 教材等

a) 契約の相手方が準備するもの

- 1) 教育実施計画に基づく教育資料等（テキスト（市販品でも可，受講人数分），プレゼンテーション用スライド等）
- 2) プレゼンテーション等で使用する電子計算機等（HDMI端子付き）

b) 官側が準備するもの

- 1) 教場及び講師控室
- 2) 講義のための，マイク，回線，Webカメラ等
- 3) プレゼンテーション用スライド等表示のための，液晶モニター等の器材，ホワイトボード，筆記具等

c) 費用の負担

本委託業務の費用には，教育資料等の作成等に係る費用，講師の駐屯地までの交通費等，教育に必要な一切を含むものとする。

3 検査等

3.1 検査

この仕様書によるほか，契約担当官等の任命する検査官が実施する。

3.2 監督

契約の相手方から提出される教育実施計画により，教育の実施状況について，契約担当官等の任命する監督官が実施する。

3.3 保全

3.3.1 情報等保全

- a) 駐屯地への立入りに際しては，当該駐屯地所定の立入り手続きを行うものとする。
- b) 契約の相手方は，本契約の履行に当たり，直接又は間接に関わらず知り得た事項の管理に万全を期すとともに，別途利用，その他への公表等は防衛省の承認なく行ってはならない。また，本契約終了後も同様とする。

3.3.2 電子計算機及び可搬記憶媒体

教育のため，電子計算機及び可搬記憶媒体（USB，CD，DVD等）を持ち込む場合は，事前に官側に連絡するものとする。その際，契約の相手方が予めウイルス検索を実施するとともに，持ち込まれた電子計算機及び可搬記憶媒体に対し，官側は再度ウイルス検索を実施する。

3.3.3 個人情報

契約の相手方が知り得た個人情報は，第三者への伝達，提供等をしてはならない。また，教育において，隊員の個人情報を文書等により提供させた場合は，教育終了後，速やかに本人に返納するものとする。

4 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義は，GLT-CG-Z000001の8.3による。

課目の概要

※細目については基準であり，細部は官との調整による。

1 S P I 試験概要

目 標	S P I 試験の概要について理解させる。
細 目	<ul style="list-style-type: none"> ○ S P I 試験の概要 ○ S P I 試験で評価されている内容 ○ S P I 試験の種類 ○ S P I 試験の対策方法

2 能力検査問題の理解

目 標	能力検査問題（言語分野・非言語分野）の問題形式及び傾向について理解させる。
細 目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 能力検査問題（言語分野・非言語分野）の演習 ○ 同問題の回答要領等の解説

3 性格適性問題の理解

目 標	性格適性問題の問題形式及び傾向について理解させる。
細 目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性格適性問題の演習 ○ 同問題の回答要領等の解説

4 総合的な問題演習

目 標	テストセンター試験対策を含めた実践形式の問題演習を実施して，試験対応能力を向上させる。
細 目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践形式問題（テストセンター問題を含む。）の演習 ○ 同問題の回答要領等の解説

教育期間及び教育時程

1 教育期間（基準）

回	教育期間	教育方式
第1回	令和6年5月13日（月）～5月17日（金）	対面講義
第2回	令和6年5月27日（月）～5月31日（金）	オンライン講義

2 教育時程（基準）

- (1) 第1日
1310～1700（4時間）
- (2) 第2日～第4日
0820～1700（8時間）
- (3) 第5日
0820～1000（2時間）
- (4) 合計
4時間 + (8時間×3日) + 2時間 = 30時間